巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷惠策SJ

３２

第九幕　第3場

1523年

バルセローナ発カエタ行き船上

登場人物：　巡礼者　　　　　　　イニゴ・デ・ロヨラ

　　　　　　旅の母娘（おやこ）

〖語り〗イニゴは、ロヨラでの回心以来温め、熱望してきたエルサレムの巡礼を実現すべく、ついにバルセローナの港から船上の人となりました。1523年、イニゴ32歳の年のことです。船旅は大荒れの天気となりましたが、強い追い風に乗りわずか５日でカエタの港につきました。上陸の用意をして船客たちが甲板に集まっています。

**母**：　　もうイタリアの山が見えてきたわ。思ったより早く着きましたね。

**娘**：　　ほんとに。強い風のおかげよ。でも、嵐はこわかったわ。いまにも船

が沈むんじゃないかと、気が気じゃなかったわ。

**母**：　　ほとんど航海の間中　吹き荒れてましたからね。初めの何日間かは、船の揺れで、ほとんど眠れなかったわ。(隣に立っているイニゴの方を向きながら)あなたはよくお眠りになれましたか?

**イニゴ**：いいえ、最初の晩は波のしぶきが顔にかかってすぐ目が覚めました。

２日目からは慣れてしまって良く寝ましたが。

**母**：　　これからどちらにいらっしゃるのですか？

**イニゴ**：巡礼の旅ですから、物乞いをしながら、まずローマに行きます。

**母**：　　そうですか。娘と私も物乞いしながらローマに行くところです。女二人の旅ゆえ道中が心配なので、娘には男の格好をさせているのですが、すぐ見破られてしまい　怖い思いをすることもありました。

**イニゴ**：そうでしょうね。近くで見れば、すぐわかりますよ。声を聞いてもね。

**娘**：　　お願いです。ご一緒させていただけないでしょうか？

**母**：　　足手まといでしょうが、よろしくお願いいたします。できるだけご迷

惑をおかけしないよう努めますから。

**イニゴ**：同じ方角ですから、いっしょに行きましょう。

第九幕　第3場

カエタからローマへの途上

登場人物：　巡礼者　　　　　　　イニゴ・デ・ロヨラ

　　　　　　旅の母娘（おやこ）

　　　　　　青年

　　　　　　イタリアの農家の主人

　　　　　　兵士　A　B　C　D　E

『語り』というわけで、カエタの港に上陸後、三人は一緒にローマへの道を歩み始めました。途中から一人の青年も加わり、半日の道のりを行き、夕暮時　とある村に差し掛かりました。

**イニゴ**：かなり長く歩き続けましたが、疲れていませんか？

**娘**：　　私はまだまだ歩けます。ゆっくり歩いてくださるので助かります。

**母**：　　私は大分くたびれました。日も傾いてきましたし、そろそろ今夜の宿を探さなければなりませんね？

**青年**：　僕も一緒に探しましょう。あの農家の庭に　大勢人が集まっているようですね？

**娘**：　　兵隊さんたちみたいね。たき火を囲んで　賑やかなこと。

**兵士A**:　オーイ、そこの旅の方々。一寸寄ってかねーか？素通りってこたアねーだろう？

**イニゴ**：何かイタリア語で怒鳴ってますが、何と言ってるんでしょうね？

**青年**：　「少しここで休んで行け。一緒に飲もうじゃないか。いい酒があるよ」と言ってます。仲間に入れてもらいましょうか？

**娘**：　　そうね。楽しそうね。

**母**：　　大丈夫かしら？あの人たち、大分酔っぱらっている様よ。

**青年**：　ぼくたちがついているから　大丈夫ですよ。

**イニゴ**：あの家に場所があれば、泊めてくれるかもしれませんね？頼んでみましょう。

**兵士B**:　おお、来た来た。そうこなくっちゃ。

**兵士C:**　おい　お若いの。あんた女子（おなご）だね？遠くにいるときは男かと思ったよ。なんだって、ズボンなんか履いてるんだよ？いやー、別嬪だね！俺の隣に座んな。

**兵士D**：　あんたたち、イタリアの人じゃないね？ああそうか。バルセローナから今日着いたのか。Cはエスパニャの言葉がうまいから、通訳してもらうべえ。

**兵士C**:　　港からずっと歩いてきたんだろう？腹ペコだべ―？いいから、どんどん食べな。ブド―酒も沢山あるぜ。

**母**：　　　ご親切に、有難うございます。

【黒い使いの合唱】イニゴよイニゴ　無分別　　みすみす罠に　かかるのか？

　　　　　　　　　母とむすめを　オオカミの　群れに投げ込む　ようなもの

**イニゴ**：　神よ、われらを守りたまえ。

　　　　　さあ、夜も更けてきたので、我々はそろそろ寝かせていただきましょう。明日の朝、早いので。皆さん、ご馳走様でした。

**農家の主人**：それじゃあ、お母さんと娘さんは二階で休んでください。あなたとお連れは　馬小屋で我慢してください。

**イニゴ**：　それで十分です。有難う。ではみなさん、お休みなさい。

**母、娘**：　　お休みなさい。

　　　　　　　　　　　　　　　つづく